

科目区分	専門分野	履修学年	1 年前期	単位数	1	時間数	30
科目名	生活を整える技術Ⅱ（清潔・衣生活）			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅰ 2) メディカ出版 ②基礎看護学 基礎看護技術Ⅱ						
テキスト以外の教材・参考書等	1) メディックメディア 看護が見える①基礎看護技術 2) インターメディカ 写真でわかる基礎看護技術アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>日常生活の中で、清潔を保つということは、皮膚・粘膜の機能を良好に保ち、その機能を高める生理的効果や、爽快感を促し身体的側面の効果をもつ。また基本的ニードの充足にもつながる。清潔援助は、看護場面で直接関わることの多い援助の一つである。援助を必要とする対象のもてる力を発揮しながら、対象に適した清潔・衣生活の日常生活行動を整えるための基本的知識と技術を提供できる能力が身につくようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔・衣生活の意義について理解できる。 2. 皮膚・粘膜の機能から清潔を保つ意義や目的について理解できる。 3. 身体各部の清潔を保持するための援助方法について理解できる。 4. 身体各部の清潔を保持するための基本的援助技術を習得できる。 							
評価方法	筆記試験 実技試験 演習参加状況、レポート						
備考	洗髪、全身清拭、更衣の援助計画を事前に記載し、演習時に持参する 課外の時間を利用し、実技試験項目の練習が必要になる 関連科目：解剖生理学, 病態学						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	清潔の意義 皮膚粘膜のメカニズムとケア 皮膚粘膜の機能 入浴、マッサージの生体反応、 清潔ケアの効果	講義
2	清潔のニーズとアセスメント 清潔のニーズと阻害する要因 セルフケアの程度	講義
3	全身清拭 寝衣交換	講義
4	全身清拭 寝衣交換	演習
5		
6		
7		
8	清潔援助の方法 整容 入浴介助	講義
9	手浴・足浴	講義
10	洗髪 洗髪車、ケリーパッド	講義
11	洗髪（ケリーパッドを用いた援助）	演習
12		
13		
14		
15	終講試験 まとめ解説	

*ピンクの枠は演習